マクロ経済学の基礎　2008 年度中間テスト

問題１　（各７点×10）

（１）次の文章のうち誤っているものを選べ
①供給曲線の形状は通常右下がりになる。
②付加価値とは、生産額から中間投入（中間財）を引いたものである。
③マルサスは人口と食料の増加スピードでは、人口の増加スピードが速いと考えた。
④失業率とは、失業者の労働人口（労働力人口）に占める比率である。
⑤マネーサプライ、国富、資本ストックはストックのデータである。

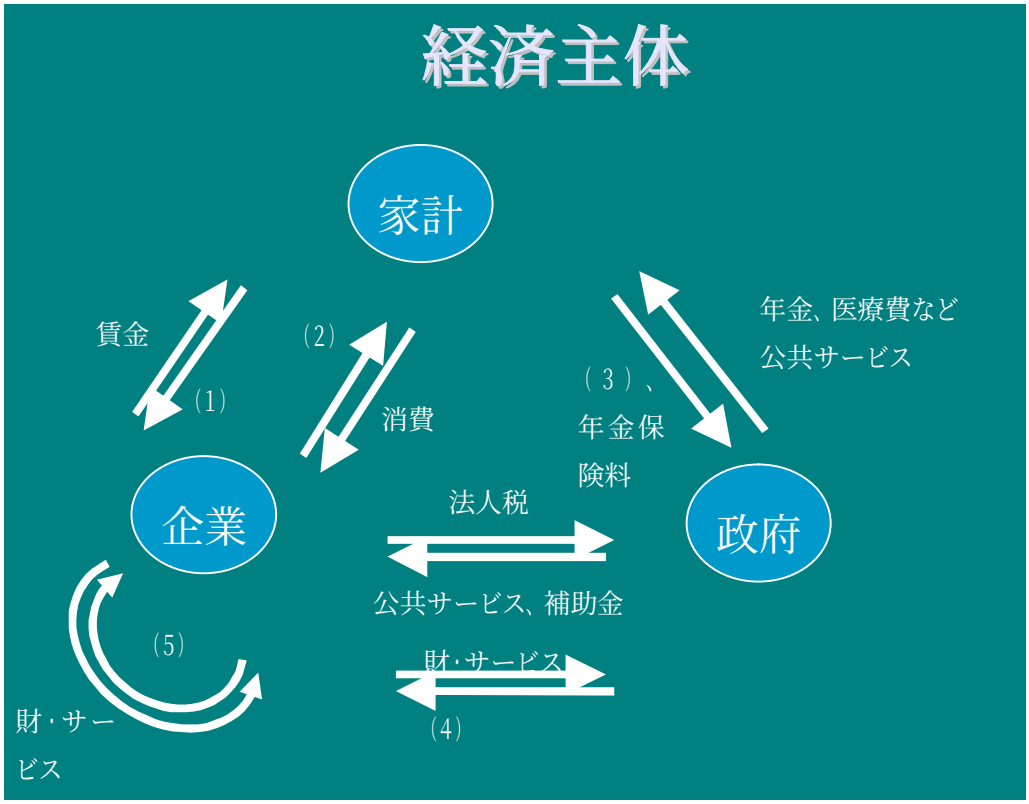
（２）次の文章のうち誤っているものを選べ。
①名目ＧＤＰが 750 兆円で、デフレーターが基準年を 100 として 150 のとき、実質ＧＤＰは 500 兆円である。
②公的固定資本形成は、簡単な言葉で呼ぶと設備投資と呼ばれる。
③1 ドル 100 円から 1 ドル 200 円になることを円安になるという。
④新古典派が重視するのは、金融政策である。

（３）次の文章のうち誤っているものを選べ。
①生産物とそれに対応する労働力が次の表で与えられるとき、比較優位の原理に従えば、日本は自動車を作ることになる。

生産物１単位を作るのに必要な労働		国	
		日本	米国
生産物	自動車	50 人	45 人
	小麦	60 人	40 人

②水とダイヤモンドのパラドックスとは「水は必要なものなのに安く、ダイヤモンドは必要不可欠ではないのに高い」というものである。
③日本経済の用語で、1970 年代から 80 年代までを高度成長期と呼ぶ。

（４）次の図に関する記述のうち誤っているものはどれか。一つ選べ



①図の（１）に入る言葉は労働力である。
②図の（２）に入る言葉は、財・サービスである。
③図の（３）に入る言葉は所得税である。
④図の（４）に入る言葉は消費税である。
⑤図の（５）に入る言葉は投資である。

（５）次の文章のうち誤っているものを選べ。
国民経済計算の諸概念について以下の値が与えられている。
最終消費支出　240　総固定資本形成　120　在庫品増加　10
財・サービス輸出　60　財・サービス輸入　40　固定資本減耗　10
間接税－補助金　20　海外からの要素所得の受取 20
海外からの要素所得の支払　10

①国民純生産は 380 である。
②国民総生産は 400 である。
③国内総生産は 390 である。
④国民所得は 370 である。

（６）次の文章のうち誤っているものを選べ。
①経済政策の担い手の組み合わせは、財政政策は財務省（政府）が担当し、金融政策は日本銀行が担当する。
②スタグフレーションとはデフレと不況の共存である。
③シュンペーターの言葉として有名なのは、「創造的破壊」である。
④名目と実質の関係については、「名目／物価＝実質」が成り立つ。
⑤ＧＤＰデフレーターと同じ性質の経済指標として、消費者物価指数、企業物価指数などがある。

（７）次の文章のうち誤っているものを選べ。
ある国ではリンゴしか生産していないとする。右に列に 2000 年と 2001 年のリンゴの生産量と価格が書いてある。これを用いて表のそれぞれの数値を埋めよ。

	名目ＧＤＰ	実質ＧＤＰ	ＧＤＰデフレーター	リンゴの生産量（個）	価格（円）
2000	（１）	（２）	100	10	100
2001	（３）	（４）	（５）	10	150

①表中（１）は 1000 になる。
②表中（２）は 1000 になる。
③表中（３）は 1000 になる。
④表中（４）は 1000 になる。
⑤表中（５）は 150 になる。

（８）下記のグラフの説明について、組み合わせが誤っているものはいくつあるか。その数をマークせよ。（一つ誤りなら①をマーク）

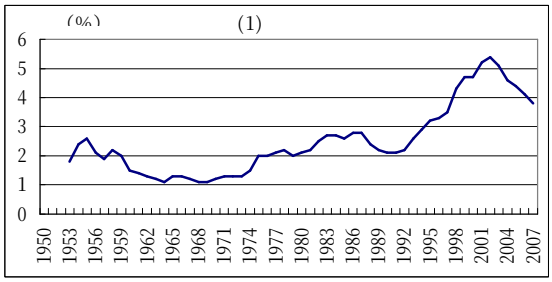
・（１）は日経平均株価ある。

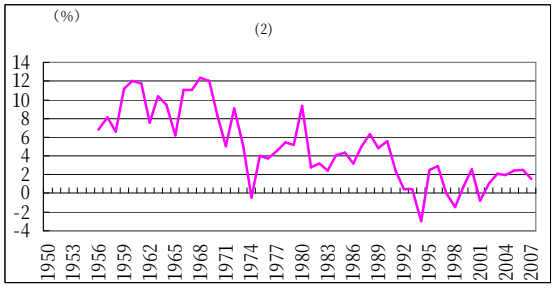
・（２）は実質ＧＤＰ成長率である。

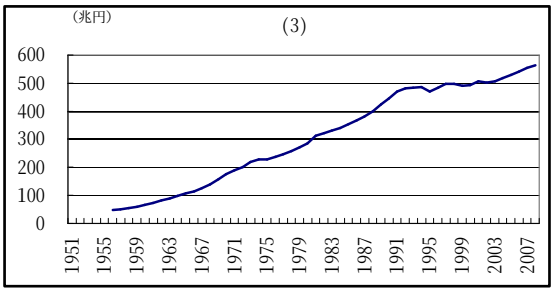
・（３）はマネーサプライである。

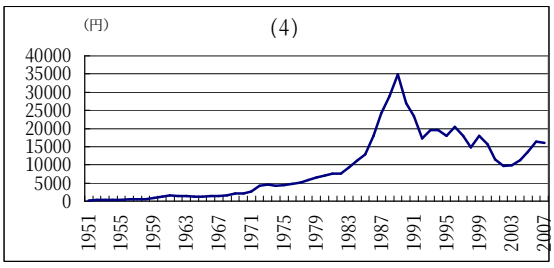
・（４）は失業率である。

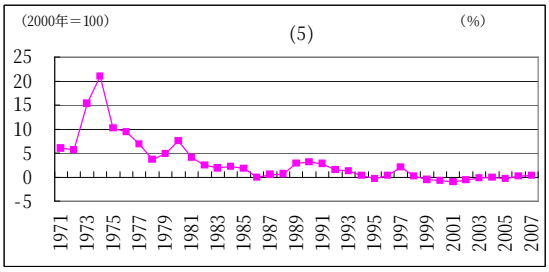
・（５）は短期金利（コールレート）である。











（９）次の記述のうち誤っているものはどれか

①宇宙飛行士の山崎直子さんが、再来年 2 月に打ち上げられるスペースシャトルで、宇宙に行くことが今週決まりました。日本人の女性としては、３人目の宇宙飛行です。

②著作権というのは、いろんな作品を作った人が持っている権利のこと。著作権は、作品ができたと同時に生まれ、誰かに届けたりする必要はありません。

③日本の自動車を、アメリカで売る場合を考えましょう。１ドルが１００円だとすると、１００万円の自動車はアメリカでは１万ドルになります。でも、円の値打ちが上がって１００円が２ドルになると、自動車の値段は２万ドルになってしまいます。

④年金は、年をとった人が安心して暮らせるためのしくみです。20 歳以上の人は、保険料というお金を国に納めなければなりません。ちゃんと払えば、年を取ってから生活費とし

て、年金というお金を国から受け取ることができます。

（10）次の記述のうち誤っているものはどれか。一つ選べ。
①アメリカの大統領選でオバマ大統領が当選したが、所属するのは民主党で、国務長官にヒラリー・クリントン上院議員を指名した。
②厚生次官宅連続殺傷事件では、元厚生事務次官山口剛彦さんと妻美知子さんが殺害され、同じく元厚生事務次官吉原健二さんの妻靖子さんが重傷を負った。
③サブプライムローンに端を発した金融危機で、ＡＩＧ、シティグループは破綻したが、リーマンブラザーズは救済された。
④詐欺容疑で逮捕された小室哲哉容疑者の代表曲は「My Revolution」「CAN YOU CELEBRATE?」「DEPARTURES」などである。
⑤2008 年にノーベル物理学賞を受賞したのは、南部陽一郎、小林誠、益川敏英、ノーベル化学賞を受賞したのは、下村脩である。

問題２（20 点）
ある国が不況に陥った。不況の克服策として、経済学者のＡ教授、Ｂ教授は次のように述べている。どちらの政策をとるべきだと思うか。「ケインズ学派」「新古典派」という言葉を入れて意見を述べよ。2008 年の実質ＧＤＰは 100 兆円で、失業率は５％である（ちなみに、どちらかが正解というわけではありません）。

Ａ教授
40 兆円の公共投資をすることによって、2009 年の名目ＧＤＰを 20 兆円増やすことができる。物価は変わらない。ただ、財政赤字は 30 兆円分増え、失業率は３％になる。

Ｂ教授
金利を１％下げることによって、2009 年の名目ＧＤＰを 20 兆円増やすことができる。財政赤字は増えない。ただ、物価が 2008 年を 100 とすると、110 に上昇する。失業率は４％になる。

問題３　（10 点）
「どのような質問をするかで、その人がその事柄を理解しているかどうかがわかる」と言われています。そのことを踏まえた上で、授業を聞いていて疑問に思ったことを書いてください。（疑問が何もないというのは、全部わかっているというより、まったくわかってない可能性のほうが高いので０点）」

合わせて、改善点、感想なども書いてください。